

## スズキ、インドで新型の小型SUV 「S-PRESSO(エスプレッソ)」を発売



※用品装着車

### 新型「S-PRESSO」

スズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社(マルチ・スズキ社)は、9月30日に新型の小型SUV「S-PRESSO(エスプレッソ)」を発売した。

**新型「S-PRESSO」**は、マルチ・スズキ社が「エスクード」などに代表される、スズキのSUVの流れを汲んだデザインを採用したモデルである。エクステリアは存在感のあるフロントバンパーに、台形をモチーフとしたフロントグリルや、ウinkerを掴むように配置したヘッドランプを組み合わせることで、力強くタフな印象とした。フロントからリヤにかけてデザインイメージを統一することで、どの角度からでも一目で「S-PRESSO」と認識できるようにした。

インテリアには丸型のセンターコンソールを採用し、先進性を印象づけるデジタル表示のセンターメーターを配置した。室内空間を最大限に確保しながら、大型スーツケースも収納できる荷室スペースを設けることで、快適性と利便性を両立した。

新プラットフォーム[HEARTECT(ハーテクト)]のKプラットフォームに1.0Lガソリンエンジンを搭載することで、軽量・高剛性の車体との組み合わせにより、優れた低燃費と高い走行性能を実現し、インドで2020年4月に導入される新しい排ガス規制(BS6)に対応した。

2018年度のインド乗用車市場は約337万台で、そのうちの約6割を全長4m未満のコンパクトカーが占めている。**新型「S-PRESSO」**の主なターゲットである若年層は、車両購入に際しデザインを重視する傾向があり、デザイン性の高いモデルを投入することで、新規需要の獲得を狙う。生産はマルチ・スズキ社のマネサール工場で行われ、同社のアリーナ店を通じて販売する。

#### ●新型「S-PRESSO」の主要諸元

- ・全長3,565mm×全幅1,520mm×全高1,549/1,564mm
- ・エンジン:1.0Lガソリン
- ・トランスミッション:5MT/AGS